

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会
VOC処理技術拡大ワーキンググループ会合
議事要旨

1. 日時：平成19年1月26日（金）10:00～12:00
2. 場所：経団連会館 901号室
3. 議題
 - (1) 環境技術実証モデル事業（VOC処理技術分野）の概要について
 - (2) 事業や対象技術への要望・意見
 - (3) 実証によるメリット等の向上についての要望・意見
 - (4) その他
4. 出席検討員：坂本和彦（座長）、岩崎好陽、小淵存、土井潤一、保坂幸尚、本田城二
意見者（実証機関）：東京都環境科学研究所（平成15、16、17、18年度実証機関）
意見者（環境技術開発者）：エムワイテクノ研究所（平成15年度実証経験者）
株式会社モリカワ（平成16年度実証経験者）
東洋紡績株式会社（平成17、18年度実証経験者）
5. 配付資料
 - 資料1 環境技術実証モデル事業（VOC処理技術分野）の概要について
 - 資料2 事業および対象技術分野に関する要望・意見資料
 - 参考資料 中小事業所向けVOC処理技術分野実証試験要領
6. 議事

会議は公開で行われた。

 - (1) 環境技術実証モデル事業（VOC処理技術分野）の概要について
事務局から資料1に基づき、本事業および本技術分野の概要について説明。
 - (2) 事業や対象技術への要望・意見
事務局から資料2に基づき、本事業および本技術分野に関する要望・意見を説明の後、意見者より、本事業および本技術分野に関する要望・意見を発表。主な要望・意見は下記の通り。
 - ・ 実証試験を通じて、装置単体の情報だけでなく、排出業者が必要とする現場との適合性に関する情報を示すことで、より実証の有用性が高まるのではないかと。
 - ・ 技術の特徴をわかりやすく伝えるための工夫や、データの見方に関する情報提供も必要。
 - ・ 性能の劣化・製品の寿命についての評価、情報提供も必要ではないかと。
 - ・ 実証試験実施場所を選定する際に、実証試験を行うのに不適切な場所を選定することのないよう、一定の条件を設けた方が良いのではないかと。

(3) 実証によるメリット等の向上についての要望・意見

意見者等より、実証によるメリット等の向上についての要望・意見を発表。主な要望・意見は下記の通り。

- ・ モデル事業そのものの知名度が低いので、更なる周知を希望する。
- ・ 実証済み技術の購入が促進されなければ、環境技術開発者の育成、技術の発展も進みにくいことから、公的機関等が率先して実証済み技術の導入を検討すべき。
- ・ メーカーとしてロゴマークには魅力がある。これに、いかに重み付けをしていくかが重要。有用な技術であることの証明を付加する等の措置を検討していただきたい。
- ・ 中小企業における自主的取り組みを促進するには、環境保全効果だけでなく、VOCの回収機能など経済的効果についての実証も検討すべき。

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)